

「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」最新事業紹介

指導用スライド教材Ⅲ、Ⅳができました

東京都教育委員会は、「乳幼児期からの子供の教育支援プロジェクト」事業の一つとして、平成24年3月に、乳幼児期に大切なことを保護者の方々に話をする時に使用していただける《スライド教材》シリーズのⅢ、Ⅳを作成しました。

心と体の基礎が育つ乳幼児期に大切なことの「なぜ?」「なに?」を伝える時に、イラストやグラフ等を使って、科学的な根拠を踏まえた説明やアドバイスができます。

教材Ⅲ

運動能力の発達と「遊び」の大切さ ～運動遊びを通して育つもの

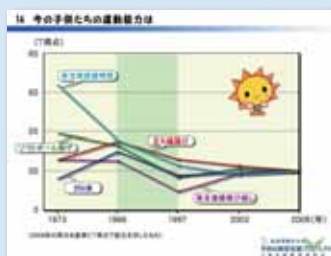
教材Ⅲ表紙



子供の動きの発達に関する研究成果を踏まえて、体を使った遊びの大切さを伝えましょう。

《主な内容》

- ・ 運動能力・動きと遊びの考え方
- ・ 幼児期の動きの発達
- ・ 子供たちの運動能力・動きの変化
- ・ 子供たちの運動遊びの変化
- ・ 運動遊びで学ぶこと
- ・ 保護者へのアドバイス



(Ⅲ-14)「今の子供たちの運動能力は」



(Ⅲ-16)「動きが未熟な子供が多い?」

監修：中村和彦先生

(山梨大学教授)

吉田伊津美先生

(東京学芸大学准教授)ほか

「指導の手引」を参考に

1枚のスライドごとに、専門的な用語や内容の解説、使用例を掲載した「指導の手引」があるので、科学的な内容を踏まえて分かりやすく伝えることができます。「指導の手引」もウェブサイトにて提供しています。

教材Ⅳ

ふれあって、親子の絆(きずな)を

教材Ⅳ表紙



人との関わり方の基礎になる小さな頃の親子関係。心の発達を踏まえた関わり方のアドバイスのために。

《主な内容》

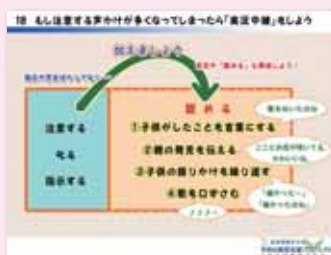
- ・ 人としての出発
～親子の絆が安全基地になる～
- ・ 子供の発達の姿を知って、適切なかかわりを
～どんな育て方が子供を伸ばすのでしょうか?～
- ・ みんなで子育て

監修：内田伸子先生

(お茶の水女子大学客員教授・名誉教授)

永田陽子先生

(北区育ち愛ほっと館専門相談員)ほか



(Ⅳ-18)「もしも注意する声かけが多く
なったら『実況中継』をしよう」



(Ⅳ-21)「大人の言葉や態度がモデルです」

■ スライドと「指導の手引」は、ウェブサイトからダウンロードできます

パソコンをお持ちで、インターネットに接続する環境がある方は、ウェブサイトから、用途に応じてダウンロードできます。ダウンロードの方法等については、ウェブサイトをご覧ください。

インターネット接続の環境がない方は、都内各区市町村教育委員会事務局の社会教育、生涯学習又は家庭教育の所管部署にCD-ROMと指導の手引を配付してありますので、そちらからコピーやプリントをしてください。

<http://www.nyuyoji-kyoiku-tokyo.jp/> ※こちらのサイトの「資料のページ」からどうぞ

★教材Ⅰ「脳と心の発達メカニズム ～五感の刺激の大切さ」、教材Ⅱ「生活リズムの確立のために」も、ウェブサイトにて提供しています。